



日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

1997年 6月 5日

出願番号

Application Number:

平成 9年特許願第147504号

出願人

Applicant (s):

松下電器産業株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

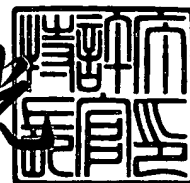
RECEIVED  
98 SEP 25 PM 2:14  
GROUP 2700

KOTSUKI  
09/08/98, 162  
6-2-98

1998年 5月 8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

荒井寿光



出証番号 出証特平10-3035756

【書類名】 特許願

【整理番号】 2913090460

【提出日】 平成 9年 6月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 電話帳ソフト起動システム

【請求項の数】 1

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 高津城 邦夫

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 今林 時夫

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100078204

【弁理士】

【氏名又は名称】 滝本 智之

【選任した代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9702380

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電話帳ソフト起動システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パーソナルコンピュータと、パーソナルコンピュータに接続されたモデムと、パーソナルコンピュータの電話帳アプリケーションの起動要求部と、オフフック検知部とを備え、使用者が外部電話をオフフックするとこのオフフックを検知し、これをイベントとしてパーソナルコンピュータ上の電話、あるいは電話帳アプリケーションソフトウェアを起動することを特徴とする電話帳ソフト起動システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、パーソナルコンピュータに接続した外部電話を使って通話する場合の電話帳ソフト起動システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

最近、パーソナルコンピュータ（以下、「PC」という）から電話ができるようになってきたが、この場合PCの電話帳を利用して相手先にダイヤルし、外部電話（パーソナルコンピュータの外付け電話機）で通話したい機会が多く発生する。この場合、使用者はPCを操作し、PCの電話、あるいは電話帳のアプリケーションソフトを探してオープンし電話をかけるか、またはPCのアプリケーションによっては外部電話をオフフックした後、PC側をオンフックして電話をかけなければならなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の方法では、電話をする場合にPCの電話帳のアプリケーション（APL）を探してオープンする必要がある、またPCのアプリケーションによっては外部電話をオフフックした後、PC側をオンフックする必要がある手間がかかると共に、その知識がある人にしか利用できないという問題点を

有していた。

【0004】

本発明は上記従来の問題点を解決するもので、電話のオフフックを検知し、これをイベントにし電話帳アプリケーションソフトウェアの起動を自動で行うことのできる電話帳ソフト起動システムを提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は、パーソナルコンピュータと、パーソナルコンピュータに接続されたモデムと、パーソナルコンピュータの電話帳アプリケーションの起動要求部と、オフフック検知部とがあり、使用者が外部電話をオフフックするとこのオフフックを自動的に検知し、これをイベントとしてパーソナルコンピュータ上の電話、あるいは電話帳アプリケーションソフトウェアを自動的に起動するようにした。この構成により、手間と知識を必要としていたPCを利用した外部電話機での通話を簡単にし、しかも特定の知識を必要とせずに利用することのできる電話帳ソフト起動システムが得られる。

【0006】

【発明の実施の形態】

本発明は、パーソナルコンピュータと、パーソナルコンピュータに接続されたモデムと、パーソナルコンピュータの電話帳アプリケーションの起動要求部と、オフフック検知部とがあり、使用者が外部電話をオフフックするとこのオフフックを自動的に検知し、これをイベントとしてパーソナルコンピュータ上の電話、あるいは電話帳アプリケーションソフトウェアを自動的に起動するようにした。この構成により、手間と知識を必要としていたPCを利用した外部電話機での通話を簡単にし、しかも特定の知識を必要とせずに利用することのできる電話帳ソフト起動システムが得られる。

【0007】

以下、本発明の実施の形態について説明する。図1は本発明の一実施の形態によるオフフック検知部を用いた電話帳ソフト起動システムの構成図、図2は本発明の一実施の形態によるオフフック検知部を用いた電話帳ソフト起動システムの

フローチャートを示すものである。

【0008】

図1において、1はPC、2はPC1のシリアルインターフェイスを介して接続されたオフフック検知部、3はオフフック検知部2に接続されたモデム、4は外部電話機、5は電話回線網である。6はPC1上で動作するオフフック検知部2からのイベントを監視するAPL起動要求部である。7はAPL起動要求部6から起動される電話帳アプリケーションソフトウェアのウィンドウである。

【0009】

以上のように構成された電話帳ソフト起動システムについて、以下その動作を図2のフローチャートを参照して説明する。まず、APL起動要求部6は随時PC1のシリアルインターフェイスを監視し、オフフック検知部2からオフフックイベントが送られてくるのをチェックしている（ステップS1）。その時同時にオフフック検知部2は、外部電話機4がオフフックされたかどうかを常時チェックしている（ステップS2）。ここで外部電話機4がオフフックされると、オフフック検知部2よりシリアルインターフェイスを介してオフフック情報がPC1に送信される（ステップS3）。この時APL起動要求部6は外部電話機4がオフフックされたと判断し、電話帳アプリケーションソフトを起動する（ステップS4）。

【0010】

以上のようにAPL起動要求部6とオフフック検知部2を設けることにより、電話をする場合に使用者がPCの電話、あるいは電話帳のアプリケーションソフトを探す手間と知識を必要とすることなく、PCを利用した外部電話機での通話が簡単にできる。

【0011】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、使用者がPCの外部電話機での通話を行う場合、PCの電話、あるいは電話帳のアプリケーションソフトを探す手間と知識を必要とすることなく、簡単に使用できる電話帳ソフト起動システムを実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態によるオフフック検知部を用いた電話帳ソフト起動システムの構成図

【図2】

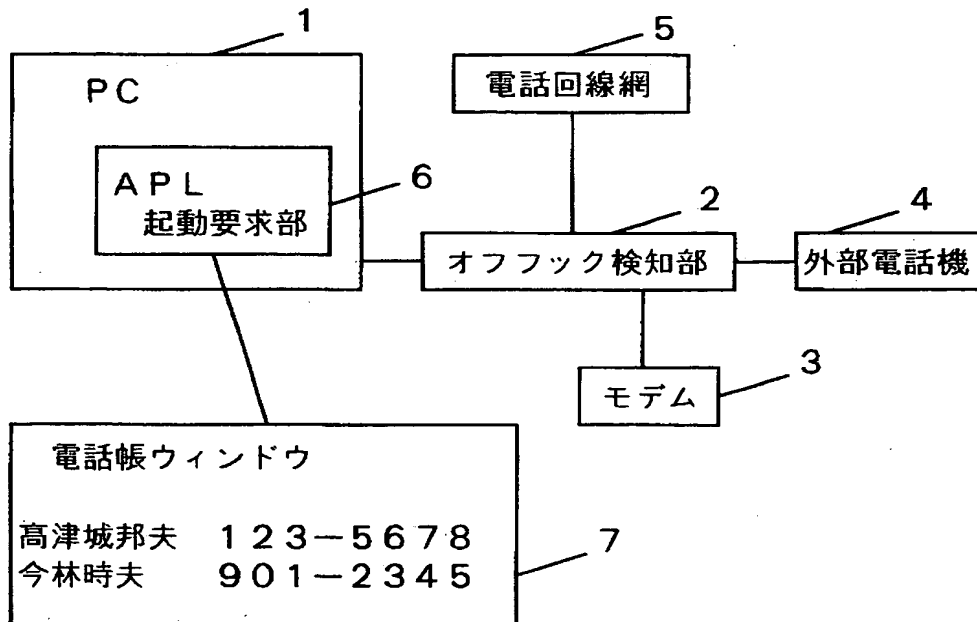
本発明の一実施の形態によるオフフック検知部を用いた電話帳ソフト起動システムのフローチャート

【符号の説明】

- 1 パーソナルコンピュータ（PC）
- 2 オフフック検知部
- 3 モデム
- 4 外部電話機
- 5 電話回線網
- 6 APL起動要求部
- 7 電話帳アプリケーションソフトウェアのウィンドウ

【書類名】 図面

【図1】

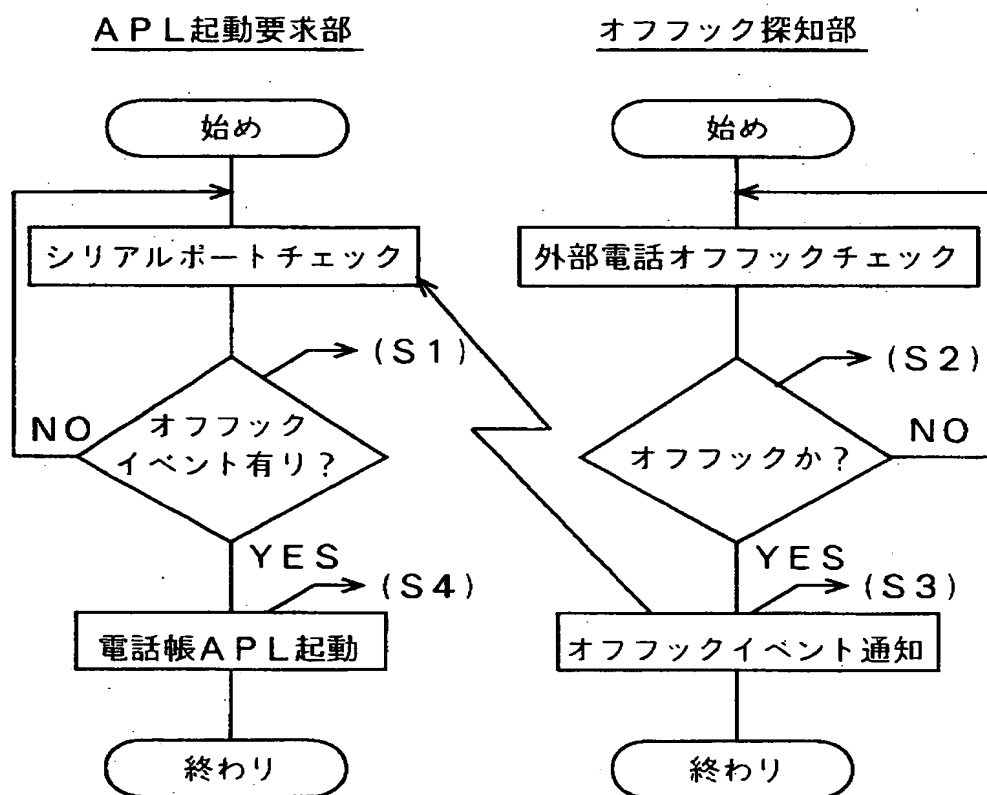


1 パーソナルコンピュータ (PC)

7 電話帳アプリケーションソフトウェアのウィンドウ



【図2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 パーソナルコンピュータ上の電話、あるいは電話帳アプリケーションソフトウェアを自動的に起動できる電話帳ソフト起動システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 APL起動要求部6は随時PC1のシリアルインターフェイスを監視し、オフフック検知部2からオフフックイベントが送られてくるのをチェックする。その時同時にオフフック検知部2は、外部電話機4がオフフックされたかどうかを随時チェックする。ここで外部電話機4がオフフックされると、オフフック検知部2よりシリアルインターフェイスを介してオフフック情報がPC1に送信される。この時APL起動要求部6は外部電話機4がオフフックされたと判断し、電話帳アプリケーションソフトを自動的に起動する。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】  
【識別番号】 000005821  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地  
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社  
【代理人】 申請人  
【識別番号】 100078204  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006 松下電器産業株式  
会社内  
【氏名又は名称】 滝本 智之  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100097445  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業  
株式会社内  
【氏名又は名称】 岩橋 文雄

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日	1990年 8月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名	松下電器産業株式会社